

# 令和7年度 羽曳野市立古市南幼稚園学力向上推進計画

## 教育目標

心豊かで力いっぱい遊ぶ子どもを育てる

## 重点研究テーマ

様々な人との出会いを大切にし、かかわりを通して一人一人の感性を磨き、心の教育・保育をする

## 幼児や保護者の姿

- ・素直で人懐っこく、感じたことを素直に言葉にして伝えようとする。
- ・基本的な生活習慣は身につけており、自分で行おうとする。時には、手先の不器用さがあり、思うようにいかないと教員に助けをを求める場面もあるが、自分で最後までやりとげようとする姿がみられる。
- ・今年度は古市幼稚園と合同保育を行っている。進級入園当初は、公用車での登園や慣れない環境でのスタートで、親子共に不安や緊張を抱えている様子が見られた。日を追うごとに、新しい友達が出来たり、自園とは違った遊具に興味をもったり、遊びを楽しむことで、気持ちが安定し、自分らしさが少しずつ出せるようになってきている。
- ・子どもが安定し、園での様子を話すようになってきた事で、保護者も当初よりは、安心して送り出せるようになってきているものの、子ども達の疲れて帰ってくる様子や、園での様子が以前よりは見えにくい部分があり、まだまだ不安がある様に感じる。

## 学校園方針

- 実体験として、豊かな心を育む
  - ・ 興味、関心、意欲を高める
  - ・ コミュニケーション力を身につける
  - ・ 知的好奇心を養う
- 我慢する心、頑張る力、協力、協調性、社会性、道徳性の育成、生活リズムを整え、主体的に遊ぶ力を育てる
- 保護者に園の方針を分かりやすく伝え、幼稚園教育の理解を得て、一緒に子育てをする
- 教育内容の充実と資質の向上に努める
- 聞く、話す、考える態度を身につける
- 様々な人との出会いふれあいを大切にし、信頼関係を築く
- 家庭との連続性を踏まえた支援を行う
- 保幼小中連携を工夫し、学びに向かう力を育てる
- 計画的な保幼小中交流をすすめ連携を深める

## めざす子ども像

### ○菅田中学校区のめざす子ども像

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・健康でたくましく生きる子

### ○古市南幼稚園のめざす子ども像

- ・健康で明るく、いきいきと活動する子ども
- ・友達と仲良く遊び、思いやりのある子ども
- ・自然に親しみ、生命を大切にする子ども
- ・豊かな感性をもち表現できる子ども
- ・進んであいさつができる子ども
- ・喜んで話し、よく聴き、考えて行動する子ども

## 具体的取り組み

- \* 基本的な生活習慣を身につけ、家庭とも共通して行う。  
基本的な生活習慣の自立に向けての園での取り組みと家庭への啓発。  
(就学前までにリズムをつける 食事・睡眠・排泄)を行う。
- \* 一人一人の子どもの心の動きをキャッチしながら、「やってみよう」「遊びたい」の声を逃さず日々の教育の中に取り入れ、子どもと共に心を躍らせ、活動していく。
- \* 教師は、子どもの良きモデルとなり、研修に参加する(リモート含む)など資質向上に努める。
- \* 健康な心と体づくりをする。  
挑戦意欲を高め、身体を動かす遊びを積極的に取り入れ、自然と体力向上につながるよう工夫する。
- \* 保護者との連携・協力を図る。  
合同保育の不安が解消出来るように、登降園の時間を使って園での様子を丁寧に伝える
- \* 様々な人とのかかわりをもつ  
中学校区の校種間連携  
古市幼稚園との合同保育  
古市・駒ヶ谷・下開保育園との交流(遊びの交流)  
古市幼稚園・菅田・あおぞらこども園との交流(遊びの交流)  
古市・古市南小学校との交流(給食体験・校庭で遊ぶ・図書室訪問・教職員間交流等)  
菅田中学校との交流(遊びの交流・職業体験・プラスバンド鑑賞等)
- \* 未就園児との交流(うさぎ組・子育て支援センターふるいち)
- \* 地域との交流(お話し会・だんじり曳き・古南フェスティバル・古市ふれあいまつり等)

## 課題と展望について

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、生活のリズムを整える。
- ② 何事にも喜んで取り組めるよう、心と身体のバランスをとる工夫を行う。
- ③ 幼児の実態に合わせた環境構成の見直しと工夫を行う。
- ④ 様々な人とかかわり、人とのふれあいを通して、心豊かな成長を促すための手立てを考える。
- ⑤ 保護者に園の教育活動の理解を図り、積極的な参加、協力体制をつくり連携をとる。
- ⑥ 15年教育のつながりをきちんと意識し、日々の教育に取り組む。
- ⑦ 地域との連携を深めながら、協力関係を強化し、地域と園が手をつないで、子どもの健やかな成長をめざす。